

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1219号	氏名	信田 益宏
論文審査担当者		主査教授	青柳 潔
		副査教授	小路 武彦
		副査教授	相川 忠臣
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、骨芽細胞の分化誘導において Delta1、Jagged1 刺激による Notch の活性化に差異があるか否か、BMP による分化誘導に Notch シグナルが必要かどうかを検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>マウス大腿骨に作成した骨欠損部の修復過程や培養骨芽細胞における Notch、Delta、Jagged の発現を免疫染色や real-time PCR で検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、Delta1 と Jagged1 は機能的に重複しており、未分化間葉細胞から骨芽細胞への分化誘導に重要な働きをしていること、さらに Notch1 は BMP のシグナル伝達に必須であることを明らかにし、今後の骨形成研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は骨再生医療から骨代謝疾患治療の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			